

教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

児童の実態

- 字を丁寧に書く。
- 読書を好きな子が多い。
- ◇漢字の定着率の個人差が激しい。
- ◇語彙が少なく、多様な表現ができない子が多い。
- ◇順序立てて考えたり、説明したりするのが苦手である。

身につけさせたい力

- ・自分の思いや気持ちを考えたり、整理したりまとめたりする力
- ・話や文章の中の語彙について関心をもとうとする態度

教師の思いや願い

- ・主体的に誰かに伝えたいという意欲をもって欲しい。
- ・多くの語句や語彙にふれ、その意味を積極的に調べて欲しい。

研究主題

「自分の考えをもち、自ら表現する児童の育成」～語句・語彙の使い方を工夫して～

目指す児童像

自分の考えをもちとは

自ら表現するとは

低学年

- ・自分の思いや気持ちを考える子

- ・順序立てて文章を書く子

中学年

- ・伝えたい事柄や心情を整理する子

- ・理由や体験を挙げて書く子

高学年

- ・相手や目的に応じて構成を考える子

- ・効果的な表現を工夫して書く子

